

(1)は、上部を欠損しており全体の形状は不明。「家門」の字の下は約5mmの間隔を開けて切断されており切断面は整っている。現状では下に字が続くとは考えにくいが、文意が取り難いことから、下に続く可能性も残される。梵字は、上部が欠失しているが、大日如来報身真言を示す「アビラウンケン」(アビラウンケン)と記されていたのであろう。

(2)は、上部がやや斜めに切断されてはいるが、ほぼ長方形の木簡である。下方左側に穿孔が一ヵ所ある。墨書は全体に不鮮明で判別しにくい。花押も判読しにくいが、全体に一六世紀の安芸国で見られる武家風の花押の形態に似ており、花押と判断された。

(吉野健志)

木簡研究第一七号

卷頭言——書は言を尽くさず、言は意を尽くさず——

佐藤宗諱

一九九四年出土の木簡

概要	平城宮跡	平城京跡	左京三条一坊十二坪	平城京跡	平城京跡
坊	長岡京跡(1)	長岡京跡(2)	長岡京跡(3)	平安京跡	左京七条一坊十六坪
町	平安京跡	左京八条三坊十四町	平安京跡	東大寺	奈良女子大学構内遺跡
寺境内	藤原宮跡	藤原京跡	左京七条一坊東南坪	高安城関連遺跡	慈照寺
寺境内	藤原宮跡	藤原京跡	左京三条三	大坂城跡	袴狹遺跡
町	長岡京跡	長岡京跡	平安京跡	有年原・	見藏岡遺跡
田中遺跡	平安京跡	左京八条二坊二町	平安京跡	客坊山遺跡群	有年原・
宮町遺跡	客坊山遺跡群	大坂城跡	大坂城跡	大坂城跡	有年原・
遺跡	梶子北遺跡	袴狹遺跡	袴狹遺跡	袴狹遺跡	有年原・
田中遺跡	梶子北遺跡	曲金北遺跡	曲金北遺跡	見藏岡遺跡	有年原・
宮町遺跡	前橋城遺跡	伊興遺跡	伊興遺跡	見藏岡遺跡	有年原・
遺跡	荒田日条里遺跡	錦糸町駅北口遺跡	錦糸町駅北口遺跡	志羅山遺跡	有年原・
西遺跡	中尊寺境内金剛院	花立II遺跡	志羅山遺跡	福井城跡	有年原・
町遺跡	石名田木舟遺跡(1)	石名田木舟遺跡(2)	北高木遺跡	大友	有年原・
三田谷I遺跡	石名田木舟遺跡(1)	石名田木舟遺跡(2)	水橋荒	大友	有年原・
一九七七年以前出土の木簡	山木戸遺跡	上郷遺跡	陰田小犬田遺跡	中園遺跡III区	有年原・
平城京跡左京二条一坊六坪	吉川元春館跡	田村遺跡群	姉川城跡	大坪	有年原・
刻齒簡牘初探——漢簡形態論のために——					
新潟特別研究集会の記録					
書評	鬼頭清明著『古代木簡の基礎的研究』				
彙報					
頒価	五五〇〇円	送料六〇〇円			